



## コンゴ民主共和国 (Democratic Republic of the Congo)



- コンゴ(民)への援助総額は2014年までに累計1,142.99億円。
- 91年に治安情勢が不安定化し経済協力を停止、2006年の民主化移行により再開し、保健、職業訓練、警察研修などの様々な分野で人的貢献を継続して実施。
- 16年に及ぶ国連PKO活動によりコンゴ(民)東部情勢に対し貢献。
- 平和の定着、社会サービスへのアクセス改善、環境保全、経済開発を通じた、国家再建に向けた平和の定着と経済社会発展への支援に向け支援を実施。

### 国概要

#### (基礎データ)

- ・面積: 234.5万平方キロメートル(日本の約6.2倍)
- ・人口: 7,488万人(2014年, 世銀)
- ・首都: キンシャサ
- ・部族: バントゥー語族300~400部族
- ・言語: 国語はリンガラ語、キコンゴ語、チルバ語、キスワヒリ語、公用語は仏語
- ・宗教: キリスト教80%, イスラム教10%
- ・政体: 共和制
- ・議会: 上・下二院制(上院120議席, 下院500議席)
- ・GNP: 373.93億ドル(2015年, 中央銀行)
- ・GNI: 一人あたり 524.16ドル(2015年, 中央銀行)
- ・経済成長率: 9.0%(2014年, 世銀)

※特に注がない場合は外務省ホームページをもとに記載。

#### (略史)

|         |                                   |
|---------|-----------------------------------|
| 14-15世紀 | バコンゴ族によるコンゴ王国建国                   |
| 1884年   | ベルリン会議(ベルギー国王私的領地)                |
| 1908年   | ベルギー領                             |
| 1960年   | ベルギーから独立(コンゴ共和国)                  |
| 1960年   | コンゴ動乱                             |
| 1965年   | クーデターによりモブツ大統領誕生                  |
| 1971年   | ザイルに国名変更                          |
| 1990年   | 複数政党制の導入                          |
| 1997年   | モブツの放逐とローラン・カビラ政権の誕生、国名をコンゴ民主共和国へ |
| 2001年   | カビラ大統領の暗殺とジョゼフ・カビラ暫定政権の誕生         |
| 2006年   | 初の民主選挙でカビラ大統領選出                   |
| 2011年   | カビラ大統領再選                          |

### 援助実績

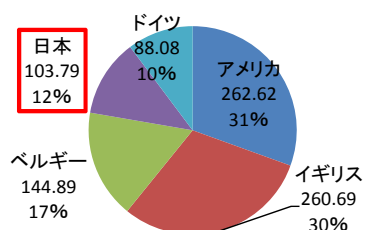
| スキーム   | 累計額                     |
|--------|-------------------------|
| 円借款    | 355.96億円<br>(2014年度末時点) |
| 無償資金協力 | 645.22億円<br>(2014年度末時点) |
| 技術協力   | 141.81億円<br>(2014年度末時点) |

出典: ODA国別データブック2015

### 経済関係

| スキーム           | 金額                                            |
|----------------|-----------------------------------------------|
| 日本からコンゴ(民)への輸出 | 712億円<br>(2015年, 財務省統計局)<br>(世界からの輸出全体の約0.6%) |
| コンゴ(民)から日本への輸出 | 4.9億円<br>(2015年, 財務省統計局)<br>(世界への輸出全体の約0.4%)  |

### コンゴ(民)への主要ODA供与国 (2013年, 出典: OECD/DAC, 単位: 百万ドル)



### 人的つながり

| 項目               | 人数                       |
|------------------|--------------------------|
| コンゴ(民)における在留邦人数  | 56人<br>(2014年10月時点, 外務省) |
| 在日コンゴ(民)人数       | 347人<br>(2015年末, 法務省統計)  |
| コンゴ(民)から日本への留学生数 | 21名<br>(2015年, 文科省)      |

## 日本とコンゴ民主共和国との協力年表

| 年代      | 案件                                                           |
|---------|--------------------------------------------------------------|
| 1954年   | 日本がコロンボ・プランに加盟                                               |
| 1955年   | レオポルドヴィル(現キンシャサ)に領事館を開設                                      |
| 1960年6月 | コンゴ共和国として独立                                                  |
| 1960年   | 在コンゴ(民)日本国大使館開設                                              |
| 1974年   | 「バナナーマタディ間輸送力増強事業」(円借款)が開始、1983年にマタディ橋が完成                    |
| 1991年   | 暴動により経協停止                                                    |
| 2005年   | 2004年度案件として警察研修開始                                            |
| 2005年   | カビラ大統領(実務訪問賓客)訪日                                             |
| 2007年   | 前年の民主選挙を受け政策協議を実施し経協再開、JICA駐在事務所開設                           |
| 2009年   | 経協再開後初のプロジェクト型無償資金協力案件(ボワ・ルー通り改修計画)のE/Nを実施以降、着実に無償資金協力を積み上げる |
| 2014年   | マタディ橋のケーブルの劣化を防ぐため、送気乾燥システムを導入するマタディ橋保全計画開始                  |
| 2015年   | 竣工式を機に「ボワ・ルー通り」から「日・コンゴ大通り」に名称変更                             |
| 2016年   | 黄熱対応で国際緊急援助隊・感染症対策チームを派遣し、緊急無償資金協力を実施                        |

マタディ橋



©土木学会



©久野真一/JICA



©マタディ橋を考える会

### ボワ・ルー通り(日・コンゴ大通り)



©JICA



工事前

©JICA



© Photo Unicef / RD Congo

国際機関を通じた衛生的な学校(水供給とトイレ整備)支援

2015年、91年の経協の停止により支援が中断していたキンシャサ特別国立職業訓練校に対する整備計画が完成。



©久野真一/JICA

PKOと協力して10年以上継続して実施されている警察研修



保健分野では、保健人材の適切な配置に関する政策面から、保健人材の育成に至るまで、一貫した支援を実施。



©久野真一/JICA

環境保全のため無償資金協力と技術協力で支援

